

車の手入れと経済運転のコツ

車の手入れ	88
外装の手入れ	88
アルミ・ホイール装着車の洗車について	89
バッテリー液の補給	89
ワイパー・ゴムの交換	90
プラグ・コードおよび点火プラグの取り扱い	90
パワー・ステアリング液の点検	91
燃料水分離器の排水方法	91
ムダなく運転するコツ	91
寒冷地での取り扱い	94



車の 手入れ

■外装の手入れ



車を美しく保つには、日頃のお肌（塗装）の手入れが必要です。

車体のほこりは柔らかい布か毛ばたきで取りましょう。

次のような場合は必ず洗車しましょう。

- 海岸地帯を走行したとき。
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- コールタール、ばい煙、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき。
- ほこり、泥で著しくよごれたとき。

〈洗車方法〉

日陰で洗車しましょう。車体が熱いときは体温以下に下がってから行ないましょう。

1. 車体の下まわり、足まわりを洗います。
2. 十分水をかけながらスポンジかセーム皮でよごれを洗い落とします。
3. よごれのひどいときはカー・シャンプーを使用します。
4. 塗装面にはん点が残らないように十分水分をふき取ります。



1. カー・シャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。
2. エンジン・ルーム内の電気部品に水をかけないように注意してください。エンジン始動不良の原因となります。
3. 下まわりを洗うときは、ゴム手袋などを着用してください。手にケガをするおそれがあります。

〈ワックスがけ〉

1 ヶ月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。

ワックスがけは洗車後に車体の温度が体温以下のときに行なってください。

ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。

オートワックス・101,301

オートワックス・スピーディー・101
マジェスティ・レッド用ワックス



ワックスの中にコンパウンド（みがき粉）がはいっていないものをご使用ください。

〈クロームめっき部品、ステンレス部品の手入れ〉

車体と同じように洗車したあとワックスがけをしますとより美しくなります。ステンレス部品のしみはポリッシュ（みがき粉入りワックス）またはコンパウンドで除去しましょう。ポリッシュ・コンパウンドは次のトヨタ純正品をお使いください。

トヨタ・ポリッシュ・コンパウンド
トヨタ・クローム・ポリッシュ

〈補修〉

塗装の飛び石傷やかき傷などは腐食の原因となりますので見つけたら修正ペイントで早目に補修しましょう。

〈駐車時の心得〉

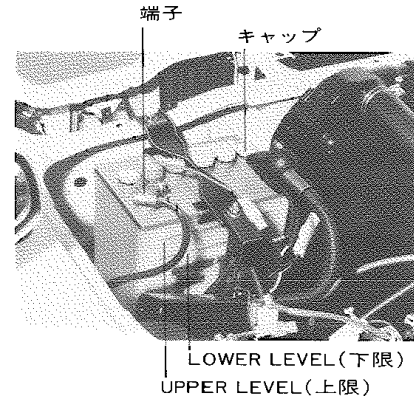
次のような場所に長時間駐車しますと塗装の劣化や車体、部品の腐食などの原因となりますので十分注意しましょう。

- 海岸
- ばい煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所
- 化学物質を排出する工場周辺
- 樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所

■アルミ・ホイール装着車の洗車について

1. ホイールを洗うときは、中性洗剤を使用してください。
2. 洗車後は、十分水洗いをし、ワックスがけを行ないましょう。ワックスにはトヨタ純正品のアルミ・ポリッシュをご使用ください。なお、トヨタ純正品のアルミ・クリーナーは研磨用ワックスですので錆などを取り除くときだけに限定してご使用ください。
3. ワイヤー・ブラシなど固い物を使用して洗うと、ホイール面に傷がつかます。セーム皮、スポンジなどをご使用ください。

■バッテリー液の補給



1. 液面が、UPPER LEVELとLOWER LEVELの間にあればよく、少ないときはUPPER LEVELまで蒸留水の補給が必要です。
2. 端子のゆるみ腐食は接触不良の原因にもなります。端子部に白い粉がついているときは、ぬるま湯で清掃した後、グリースを塗ってください。

★注意

1. バッテリーはショートやスパークをさせたり、タバコの火などの火気を近づけないようにしてください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
2. バッテリー液が目や皮膚につくと、その部分がおかされますので十分注意してください。目にはいったときはすぐ多量の水で洗い、医師の治療を受けてください。
3. 充電するときにはすべてのキャップをはずし、通気の良いところで行なってください。
4. バッテリー液をこぼした場合にはその付近を十分に水洗いしてください。

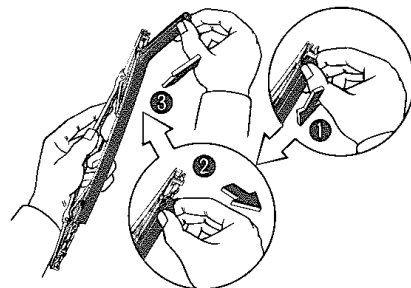
■ワイパー・ゴムの交換



ワイパーのふきが悪くなったら交換しましょう。

フロント・ガラスに油分がつくとふきが悪くなるので時々ガラス・クリーナーなどでフロント・ガラスを清掃してください。

〈交換方法〉

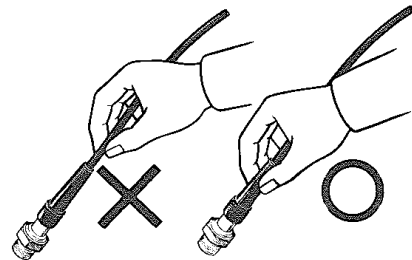


- ①ゴムの先端を押します
- ②切り欠き孔から
- ③引き出します

■プラグ・コードおよび点火プラグの取り扱い

ガソリン車

▶プラグ・コードの取り扱い
キャップを持って取りはずしてください。



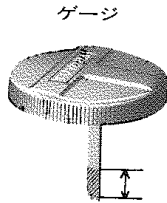
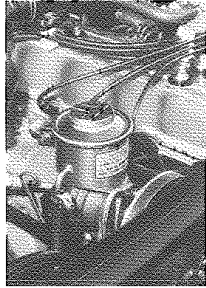
★注意

1. コードの中間を持って引っ張ると、断線のおそれがあります。
2. コードを取り付けるときは、点火プラグに確実にはめてください。

▶点火プラグの交換

交換する場合は指定のものをご使用ください。締めすぎに注意してください。裏表紙の「サービス・データ（整備基準値）」をご覧ください。

■パワー・ステアリング液の点検 *

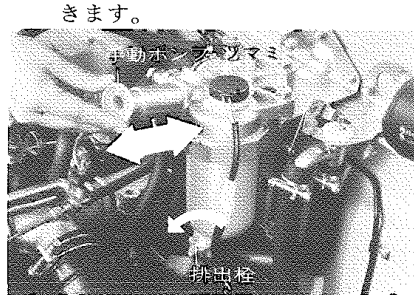


1. 液の量を5,000km走行程度ごとにお調べください。
補給タンクはポンプの上側にあります。キャップを左に回して取り、ゲージの目盛内にあるか確認します。
2. 補給はトヨタ純正キヤッスル・パワー・ステアリング・フルード・スペシャルを補給してください。

■燃料水分離器の排水方法

ディーゼル車

1. 排出栓を左に回します。
2. 手動ポンプを左に回して引き、前後に動かしてフロート（浮子）がフィルターの下に着くまで水を抜



3. 排水処理が完了したら、排出栓および手動ポンプを確実に締め付けてください。
- ☆エンジンを停止してから行ってください。
- ☆排出栓および手動ポンプを締め付ける時、工具は使用しないでください。
- ☆排出栓の下に受け皿を置き、軽油が飛散しないようにしてください。
- また、周囲に付着した軽油はきれいにふき取ってください。

ムダなく運転するコツ

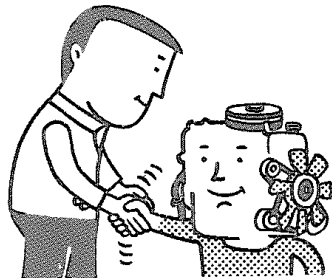
■暖機運転は、長すぎると不経済



水温計の指針が動き出すまで（40～50℃）になればOKです。

20ページの「エンジン始動」の項目を参照してください。

■エンジンをいたわる気持ちで、長持ちの秘訣



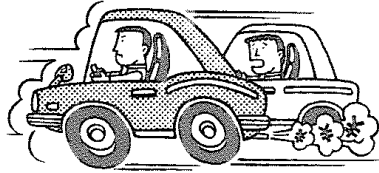
1. (新車時は特に) 控え目な運転をしてください。
2. エンジンをオーバーラン (限界回転数超過) させないために、各チェンジ・レバーの位置での速度が次表の数値を越えないように運転してください。

特に高速走行時、ギヤを一段下に落とすときはオーバーランに注意してください。

(単位: km/h)

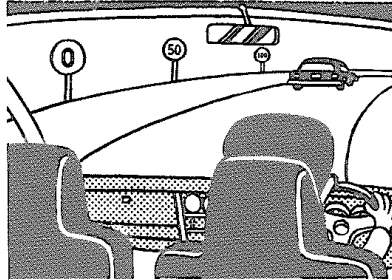
排気量	エンジン型式	変速機	1速	2速	3速	4速
1800 4気筒	13T-U	4速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	100	
		5速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	105	145
		3速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	50	90		
	13T-J	4速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	105	
		3速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	55	100		
2000 4気筒	21R-U	4速トランスミッション (フロア・チェンジ)	35	65	100	
		5速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	100	150
		3速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	55	95		
2000 6気筒	M-U	4速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	100	
		5速トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	100	140
		3速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	50	90		
		オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	50	90	150	
	M-EU	3速オートマチック・トランスミッション (ハンドル・チェンジ)	50	90		
		オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション (ハンドル・チェンジ)	50	90	150	
2200 4気筒	L (ディーゼル)	5速トランスミッション (フロア・チェンジ)	30	50	80	115
		オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	40	70	100	
		オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	60	100	155	
2600 6気筒	4M-EU	オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション (フロア・チェンジ)	55	100	150	

■不必要な高速運転は燃料のムダ使い

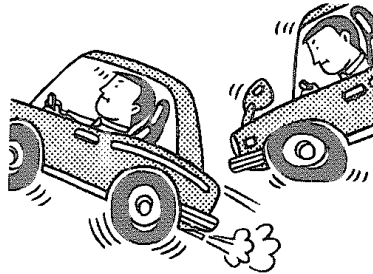


100km/h走行時の燃料消費量は、40km/h走行時の約1.5~1.7倍にもなります。高速道路は80km/h程度で走るのが経済走行といえるでしょう。

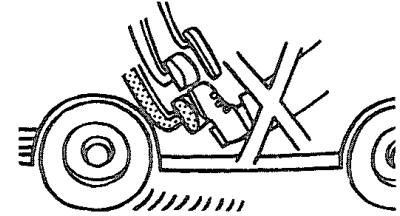
■車間距離はゆったりとって、安全プラス経済運転



■急発進、急ブレーキは危険をとまぬ不経済



■クラッチの適正で確実な操作は、車を長持ちさせる秘訣です。

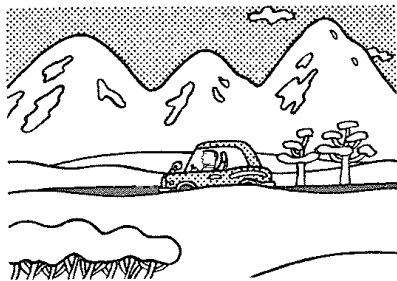


ギヤを入れるときは、クラッチ・ペダルを十分踏み込んでから行ないましょう。中途半端な踏み方ですと、クラッチはもちろんトランスミッションのギヤなども痛めることとなります。走行中は、クラッチ・ペダルに足を乗せないようにしましょう。

寒冷地での 取り扱い

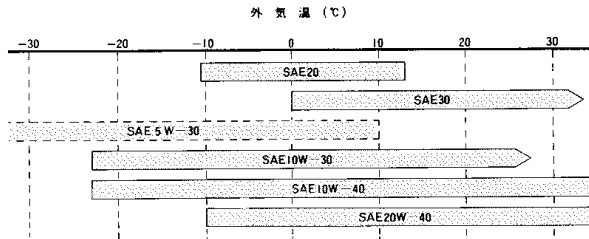
この項目での寒冷地とは、北海道全域および東北、北陸の積雪地帯および、その他の地域を含めた山岳地、スキー場などの局地的な厳寒地区、多雪地区を対象としておりますが、その他の地域においても、冬期の取り扱いの参考としてください。

■安全なウインター・ドライブをする ために



1. タイヤ・チェーンの準備
2. スノー・タイヤの装着
スノー・タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換してください。
3. 凍結防止用ワイパー・ゴムの装着
必ずトヨタ純正品を使用してください。
4. 不凍液の濃度の点検をしてください。
5. ウォッシャー液の濃度をあげてください。
70ページの「ウォッシャー液の量」の項目を参照してください。
6. エンジン・オイルの粘度番号は、車の運転条件によって多少異なりますが、外気温によって下表を参考にして使い分けてください。
7. 寒冷地では冬期シーズン・イン前に燃料タンクの水分を排出することをおすすめします。
また、水分除去剤にはトヨタ純正キヤスミック・エース・ウォーターカットを使用してください。

SAE粘度分類と使用可能外気温度の関係



■走行前の点検

寒冷時には、次の項目を作業点検のときに実施してください。

1. 車の下をのぞいて、足まわりに付着した氷塊を部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。
2. エンジン始動時にアクセル・ペダルの作動が円滑かどうか確認してください。
3. フロント・ウインドウの氷雪を除去する際には、ワイパー・ゴムがガラスに凍結していないか確認してください。

■エンジンの冷えすぎを防ぐには

気温に応じてラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンを適温に保つのに効果があります。

■ドアの凍結時の処置

ドアが凍結した場合は無理にあげようとするとドアまわりのゴムがはがれたり、き裂するおそれがありますので、湯をかけて氷を溶かしてください。なお、後で水分を十分ふき取っておきましょう。

■凍結するおそれのある場合の駐車は

寒冷時は駐車ブレーキ・レバーを引いておくとブレーキ装置が凍結するおそれがあります。

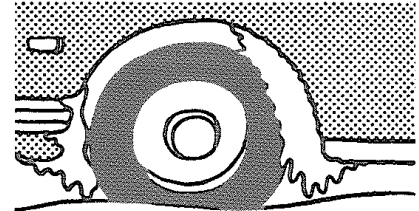
1. チェンジ・レバーの位置を、トランスミッション車はロー（1速）またはリバース（後退）、オートマチック・トランスミッション車は④にします。
2. 車が絶対に動くことのないように輪止めをしてください。

■乗車時、靴に付着した雪をよく落としてください。

アクセル・ペダル凍結防止に必要です。

■雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し次第にたい積して、ハンドルのきれが悪くなる可能性があります。

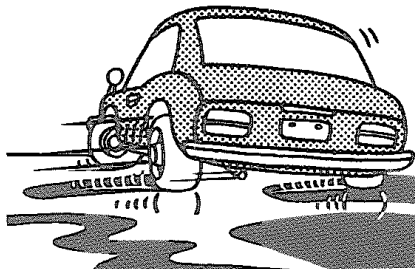
ときどき異常のないことを確認してください。



■深い雪道を走行した後に駐車したときや、吹雪の中に駐車したときは、ブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

走行を再開したら、できるだけ早く、前後の車や道路状況に注意してブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効が悪い場合は、ブレーキ・ペダルを踏んで、効きが回復するまで低速で走行してください。

■ぬれた路面、氷雪路面、凍結路面ではスリップに注意



控え目な速度で走り、氷雪路面、凍結路面では、スノー・タイヤ、タイヤ・チェーンを装着しましょう。

地域によっては、条例などで使用が義務づけられていますので、シーズン前に準備しましょう。

■ディーゼル車の使用燃料について

軽油は外気温が -10°C 以下になると凍結し、燃料配管の詰まりなどの不具合原因となります。

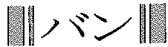
寒冷地へ行くときは、現地へ着くまでに残量を半分（燃料計目盛の $\frac{1}{2}$ 以下）にしておき、現地に着いたら下表にしたがってできるだけ早く寒冷地用燃料を補給してください。



フェリーを利用して寒冷地へ行くときは、乗船前に燃料を半分にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用限界温度	使用燃料		
	JIS 2号油 軽	JIS 3号油 軽	JIS特3号油 軽
-10°C	○		
※ -14.5°C	○	○	
-19°C		○	
※ -22°C		○	○
-25°C			○

※は、それぞれの燃料を同じ割合に混合した場合を示します。



●……標準装備 △……注文装備

装備品 グレード	エンジン回転計	油圧警告灯	リヤ・ワイパー	リヤ・ウインドウ・ガラス曇り取り	チルト・ステアリング	電動フエンダー・ミラー	シート上下位置調整装置（セパレート・シートのみ）	ランバー・サポート（セパレート・シートのみ）	リヤ・シート・ベルト	時計		ラジオ		カセット・ステレオ	エア・コンディショナー
										水晶式	音さ式	AM	AM/FM		
説明ページ	8	10	17	18	26	27	30	30	35	37		48		49	53
STD		●	△	△							△	△			△
DX		●	△	△	△				△		●	●	△	△	△
GL	●	●	●	●	●	△	●	●	△	●		●	△	△	△

上記の装備品の取り扱いは本文中に*印をつけて説明してあります。なお装備仕様は変更により車両と一致しない場合があります。

|| 整備基準値 ||

<各部調整値>

排気量およびエンジン型式		1800 (4 気筒)		2000 (4 気筒)	2000 (6 気筒)		2600 (6 気筒)	2200 (4 気筒)
		13T-U	13T-J	21R-U	M-U	M-EU	4M-EU	L
Vベルトのたわみ量 (mm) (押す力10kg)	ファン・ベルト	8~13	8~13	7~11	10~16			10~15
	エア・ポンプ・ベルト	/	/	10~15	17~26	/	/	/
	パワー・ステアリング・ベルト	/	/	7~11	↑	8~12		10~15
点火プラグの電極すき間 (mm)		0.9~1.0	0.9~1.0	0.7~1.0				/
アイドル回転数 (rpm)	トランスミッション車	600~750	700~800	650~750	700~800	750~850		750~850
	オートマチック・トランスミッション車	700~850	800~900	↑	↑	↑		↑
	パワー・ステアリング付き車	/	/	800~900	↑	↑		↑
ブレーキ・ペダル (mm)	遊び	3~6						
	踏み残り代	80 (G S L 車は70) 以上			70 (L G 車は80) 以上		80 以上	
クラッチ・ペダル遊び (mm)		5~15						
ハンドルの遊び (mm)		0~30						
タイヤ残りみぞの深さ		1.6以上 (注1)						

注1：バン車は高速走行時 (80km/h以上) の場合、2.4mm以上

<各部容量>

▶ エンジン (エンジン・オイル)

オイルのみ交換時

1800 (13T-U, 13T-J)	3.3 ℓ
2000 (21R-U)	3.8 ℓ
2000 (M-U, M-EU) }	4.1 ℓ
2600 (4M-EU) }	
2200 (L)	4.8 ℓ

オイルとフィルター交換時

1800 (13T-U, 13T-J)	3.8 ℓ
2000 (21R-U)	4.5 ℓ
2000 (M-U, M-EU) }	4.6 ℓ
2600 (4M-EU) }	
2200 (L)	5.8 ℓ

▶ トランスミッション (ギヤ・オイル)

3速トランスミッション

(ハンドル・チェンジ)	2.1 ℓ
-------------------	-------

4速トランスミッション

(ハンドル・チェンジ)	1.7 ℓ
-------------------	-------

4速トランスミッション

(フロア・チェンジ)	2.7 ℓ
------------------	-------

5速トランスミッション

(フロア・チェンジ)	2.6 ℓ
------------------	-------

▶ オートマチック・トランスミッション・オイル

ガソリン車	6.3 ℓ
ディーゼル車	6.5 ℓ

▶ ディファレンシャル(ハイポイド・ギヤ・オイル)

車軸けん架車	1.4 ℓ
独立けん架車	1.2 ℓ

▶ ステアリング・ギヤ・ボックス(ギヤ・オイル) ... 0.4 ℓ

▶ 冷却水 1800 (13T-U, 13T-J) }	8.0 ℓ
2000 (21R-U) }	
2000 (M-U, M-EU) 2600 (4M-EU) ...	11.0 ℓ
2200 (L)	10.3 ℓ

▶ 燃料タンク セダン, ハードトップ	65 ℓ
ワゴン, バン	61 ℓ

▶ パワー・ステアリング液 (全容量) 0.8 ℓ

INDEX 索引

ア

アルミ・ホイール装着車.....77, 79, 89
アンテナ.....48

イ

ESC（電子制御式横すべり防止装置）.....27
EFI（電子制御式燃料噴射装置）.....27

ウ

ウオッシュャー.....17, 70
運転方法.....19, 91

エ

エア・コンディショナー.....54
エンジン回転計.....8
エンジン・ヒーター.....21
エンジン・スイッチ.....19
エンジン・キー照明.....38
エンジン始動について.....20, 59
エンジン・オイル.....63, 69, 94
エンジン・ルーム.....62, 69

オ

OKモニター（異常箇所検知装置）.....11
オートマチック・トランスミッション.....23, 70, 83
オート・ドライブ（自動定速走行装置）.....28
オーバー・ヒート.....8, 82
オーバードライブ.....25
オーバーラン（限界回転数超過）.....92

カ

カソリン.....62
寒冷地での運転.....94

キ

吸気温度切り替えレバー.....22

ク

区間距離計.....8

グローブ・ボックス（小物入れ）.....40
フラッチ.....62, 69, 93

ケ

計器盤.....6
けん引.....59, 82

コ

コンソール・ボックス（小物入れ）.....40
高速運転.....60, 67, 73, 93
工具とジャッキ.....61, 66, 74
故障.....79, 81

サ

サン・バイザー（日よけ）.....40

シ

車種一覧表.....2
純正部品、製品.....4, 62
仕業点検.....4, 87
充電警告灯.....9
触媒装置.....10, 60
シート・ヘルト装着奨励灯.....12
シート.....29
シート上下位置調整装置.....30
仕切り板.....32
シート・ヘルト.....33, 61
室内灯.....38
シガレット・ライター.....39

ス

水温計.....8
スヘア・タイヤ.....75

セ

積算距離計.....8
前照灯の上向き表示灯.....12
洗車、外装の手入れ.....88
整備基準値.....100

ソ

速度計.....8
装備品.....97

タ

タイミング・ベルト交換警告灯.....13

暖機運転	20, 59, 91
タイヤ	73, 74
タイヤ・チェーン	78

チ

駐車灯スイッチ	18
チェンジ・レバー	23
駐車ブレーキ・レバー	25
駐停車	26, 58
チルト・ステアリング（上下調整式ハンドル）	26
チャイルド・プロテクター（安全施錠装置）	42

テ

電流計	9
ディーゼル車	13, 21, 62, 91
電動フェンダー・ミラー	29
電動ウインドウ	42
電磁式ドア施錠装置	42
ティフューザー	63
電球	86
点火プラグ	90

ト

トランスミッション	23, 70, 101
時計	37
ドア	41, 45
トランク	44

ネ

燃料計	8
燃料残量警告灯	8
燃料タンク	8, 100
燃料水分離器	13, 91
燃料タンク・キャップ	44

ハ

排気温警告灯	10, 60, 72
バッテリー	20, 59, 81, 89
ハンドル	26, 60, 72
灰皿	39, 62
排気ガス	58, 74
パワー・ステアリング	60, 71, 82, 91

ヒ

非常点滅灯スイッチ	19
ヒーター	51
ヒューズ	83

フ

ブレーキ警告灯	12
フロント・シート	21
フロント・スポット・ライト	39
ブレーキ	60, 61, 72, 93
ブレーキ液	62, 69
不凍液	70, 94
ファン・ベルト	71

ヘ

ヘッド・レスト	30
---------	----

ホ

方向指示レバー	16
ボンネット	43
保安炎筒	80

ミ

ミラー	26
-----	----

ユ

油圧計	9
油圧警告灯	10

ヨ

予熱表示灯	13, 20
-------	--------

ラ

ライト・スイッチ	16
ランプ消し忘れ警告ブザー	16
ランバー・サポート（腰部当たり調整装置）	30
ラジオ	48
ランプ類	73

リ

リヤ・ワイパー	17
リヤ・ウインドウ・ガラス曇り取りスイッチ	18
リクライニング（背もたれ調整装置）	29
リヤ・シート	31

レ

冷却水	70
-----	----

ワ

ワイパー／ウォッシュャー・スイッチ	17, 90
-------------------	--------



▶ エンジン

〈ガソリン車〉

キャスル・モーター・オイル・クリーンロイヤル
(API基準SE)

キャスル・モーター・オイル・クリーンスーパー
(API基準SD)

キャスル・モーター・オイル・クリーンカスタム
(API基準SD)

バン（触媒なし）車には、下記のオイルも合わせてご使用ください。

キャスル・モーター・オイル・ゴールドデン・
スペシャル (API基準SD)

キャスル・モーター・オイル・スペシャル
(API基準SD)

〈ディーゼル車〉

キャスル・ディーゼラックス (API基準CC)

キャスル・ディーゼラックスS-3
(API基準CD)

▶ エンジン・オイル添加剤

キヤミック・エース・モーター・オイル・
アディティブ・クリーン

▶ マニュアル・トランスミッション

キャスル・ギヤ・オイル (API基準GL-3)

キャスル・MG・ギヤ・オイル
(API基準GL-5)

▶ ディファレンシャル

〈車軸けん架車〉

キャスル・ハイポイド・ギヤ・オイル S
(API基準GL-5)

〈独立けん架車〉

キャスル・ハイポイド・ギヤ・オイル SX
(API基準GL-5)

▶ ステアリング・ギヤ・ボックス

キャスル・ギヤ・オイル (API基準GL-3)

▶ パワー・ステアリング

キャスル・パワー・ステアリング・フルード・
スペシャル

▶ オートマチック・トランスミッション

キャスル・オート・フルード・スペシャル

▶ ホイール・ベアリング

キャスル・MP・グリース

▶ 不凍液

キャスル・ロング・ライフ・クーラント

▶ ブレーキ

ブレーキ・フルード2400G (DOT-3)

▶ ウィンドウ・ウォッシャー

ウィンドウ・ウォッシャー・フルード

▶ 水分除去剤

キヤミック・エース・ウォーターカット

→ 万にそなえて

安心のため自賠責保険(強制保険)のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。

ご加入の際はトヨタ販売店にご相談ください。

→ 不幸にして
事故が起きたら!

あわてずに次の処置をしましょう。

- ① 続発事故の防止
 - ② 負傷者の救護
 - ③ 警察への届け出
- 以上道交法第72条
- ④ 相手方の確認とメモ

(氏名, 住所, 電話番号)

- ⑤ ご購入された販売店と保険会社への連絡